



宝塚市西山まちづくり協議会

令和6年(2024年)4月10日発行 VOL.127

連絡先 宝塚市野上6-2-1 コミュニティセンター「ウエル西山」

FAX 74-6825

☆みんなで作るまちづくり☆



コミュニティ西山
QRコードです

2024年度

常に「公明正大」に!!

評議委員総会開催

5月29日(水)10時~

~評議委員会~

評議部門は、西山小学校区内の8つの自治会から複数の選出された評議委員(26名)で構成される。その評議委員全員による評議委員総会を「総会」と称し、主に次に述べる事項を評議決定する。

- (1) 運営委員会で立案された事業計画及び予算、事業報告及び決算を承認する。
- (2) 運営委員会の推薦に基づき、本会の会長、副会長、庶務、会計、会計監査(役員)を選任する。

※役員は評議委員を兼務することができないし、評議委員は、執行部門から独立した存在で、客観的に運営委員会の活動を評価できる位置づけになっている。



「健康、平和、つながり」を大切に

2023年度 会長 久保田洋一

コミュニティ西山(正式名「宝塚市西山まちづくり協議会」)は、1993(平成5)年12月4日に設立された、宝塚市内で2番目のまちづくり協議会です。

設立後1年少し経過した1995(平成7)年1月17日の阪神淡路大震災では、西山小体育館を拠点として、支援物資の配給などの活動がおこなわれました。そして翌年には国際人形劇を開催するなど、市民交流の取組みもはじまりました。

以来、ふれあい西山まつり、わいわいフェスティバルといったお祭りの開催、にしやま倶楽部やドリーム西山(歌の会)など交流の場づくり、運動講座や介護予防体操教室など健康維持のための取組みや、自治会・民生委員・児童委員・補導委員・西山小学校・西山幼稚園をはじめとした学校・園・社会福祉協議会・逆瀬川地域包括支援センターとの連携など、活動やつながりが広がりをみせています。

2020(令和2)年2月からは新型コロナの影響もあり、活動は休止を余儀なくされていましたが、昨2023(令和5)年度から少しずつ再開されています。今年2024(令和6)年2月23日にはウインターコンサート、3月2日にはわいわいフェスティバルが開催されるなど、子どもたちや地域の人々との交流機会も復活しつつあります。

今後とも、健康、平和、つながりを願って、活動を続けていきたいと思えます。地域の皆さま、今後ともコミュニティ西山へのご理解、ご協力をお願いいたします。

コミュニティ西山

定期的な活動

- ◆にしやま倶楽部：宝会館
 - ・毎月第3木曜日 13:30~
 - 内容：講習会・講演・サロン等
 - 詳細：広報紙・各地域の掲示板に
- ◆ドリーム西山：ウエル西山
 - ・毎月第1金曜日 13:00~
 - 内容：童謡・唱歌中心
- ◆運動講座：ウエル西山
 - ・毎週火曜日 10:00~
 - 内容：道具等使用し無理のない運動
- ◆介護予防体操教室：宝会館
 - ・毎週水曜日 9:50~、11:00~
 - 内容：「フレイル」予防体操

※注：一部を除き費用を要します。

※注：予定が変更になる場合があります。



～ウインターコンサート開催しました～



2月23日(金祝)13時30分から西公民館大ホールで5年ぶりに開催しました。以前にも演奏していただいたことのある伊藤寿江さん率いる大阪フィルのお仲間の弦楽四重奏。

パッヘルベル作曲の「カノン」からスタート。モーツァルトの「ティヴェルティメント」やベートーベンとボツケリーネの「メヌエット」など聴いたことのある曲を中心に構成していただき、息の合った見事な演奏に皆さんうっとりされていました。



コンサートの後半、いつも聴きにきて下さった皆さんと歌を歌うコーナーがあり、いつもはピアノの伴奏で歌っていましたが、今回は弦楽四重奏で歌わせていただき、格別な体験になりました。

聴きにきて下さった方々は、「やっぱり、生演奏はいいわね」「また、来年もよろしくね」と、うれしい言葉をかけていただきました。

《 わいわいフェスティバル 》 ～盛り上がりました～



3月2日寒い日でしたが、わいわいフェスティバルに約250人が参加。ミニ運動会は5年ぶり。風船リレーとスプーンリレーを楽しんでもらいました。

風船リレーは、シーツの上に風船を3つ乗せて、落とさないようにコーンを回るゲームです。風船を落とさないよう5人で声を掛け合いながら協力している様子は微笑ましいものでした。



落とさないように～



次はスプーンリレー。慎重に慎重に落とさないよう小走りで次のお友だちに渡すのですが、今回は小さじのスプーンを使ったので、何回も落としてしまうことも多く、慌てて球を拾うのを同じグループのお友だちが一生懸命に応援。「がんばれ～～」の声、体育館に響き渡っていました。



あ～また落とした～

平均台も何のその！ 2回目のスプーンリレーは平均台を渡るという高難度なミッションに挑戦！難しいと思いましたが、みんな上手に球を落とさないよう渡っていたのにはビックリしました。

昨年に引き続き銘板作りに挑戦！樹木の名前の書いてある切り株に、好きな絵をカラフルに彩ってくれました。今年も個性的な銘板がたくさんできました！！



上手く切れている



丸太切りは1回で8人しか体験出来ないの、寒い中並んでいただかなければならず申し訳なかったのですが、ノコギリをどのように動かしたら木が切れるのか、力の入れ具合など体験していただけたかと思います。「良い香り～」「このヒノキの香り好きだわ」など、香りも楽しんでもらいました。

わいわい恒例の豚汁は、コミュニティ豚汁担当のみなさまと宝南自治会の有志の方やPTAの皆さまにご協力いただき、今年もおいしく出来上がり、冷えた身体が温まりました。



悩むニシヤマンに「ヒーローは悩まないではっきり決めて～」と声援が

昼食の後は、クロスロードゲーム～防災の分かれ道～という、大地震が起こった時に、自分だったらこのシチュエーションの時にどちらを選択するかというゲームです。こどもたちも一生懸命に考えてくれていました。防災の意識を少しでも高めてくれたら幸いです。

最後はじゃんけん列車で盛り上がり、寒い一日を一緒に楽しみました。

～人生最期を考え、話し合い、そして伝え残す～

「人生会議」(アドバンス・ケア・プランニング:略称 ACP) とは?

もしものときに、どのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有することをいいます。

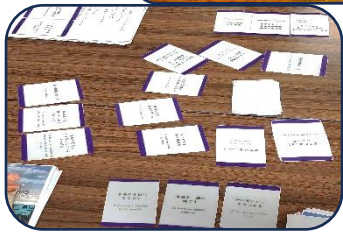
雨天、2月25日。今回は「ACP:アドバンス・ケア・プランニング」について、逆瀬川地域包括支援センターの方からこんなお話が...

救急車で運ばれる6割は高齢者。8割は回復するが、2割は亡くなる。自分がどこで死ぬのが良いか、自分の生活の希望や大切にしていること、介護や医療の希望や考えなどを事前に家族や近親者と話し合っておくことが大切。回復の見込みがない場合の延命治療についても、年を重ねると考えが変わることもあり得るので、くり返し話合うことが必要。こんなことも...。好きな食べ物、好きな歌、子どもの頃の思い出、エピソードなど、記録にとどめておくことが大切という「つなぐノート」の内容についての話もありました。



グループ発表。それぞれに改めて感じたことを...

最後の三枚



4人1組。俗にいう「坊主めくり」のようなゲーム。最後、持ちカード5枚を3枚にする時が自分を見つめる時間

～これからの人生を考えながら「もし話(ばな)ゲーム」を～

5枚の手持ちのカードとテーブルの5枚のカードを比べて、いらぬカードを捨て、必要なカードを手を持ち、3巡ほど回って、最後に2枚を捨てて「自分はこれ!」と思える3枚のカードを選び、どうしてそれを残したかを説明しあいました。カードには「いい人生だったと思える」「人との温かいつながりがある」「誰かの役に立つ」「家族の負担を減らしたい」「信頼できる医者がある」「お金の整理をする」などなど...。それぞれ思いを伝え、紹介しあうことで、自分を見据えるきっかけになるゲームだと感じた。

また、自分の気持ちを「見える化」できる、考えられた良いゲームというご指摘もあり、一同うなずく。家族が亡くなった時に悩んだことや、後悔していることなども話すことができ、普段はタブー視され、話し合えないことも話せた創造会議になりました。世代が違う人と、このような事柄を話せる場を設けられたことにより、自分を見つめ、振り返るいい時間でも...

宝塚市立西山幼稚園 55年の幕下りる

笑顔・友情・感激・感謝・教知れぬ思い出 園に残しつつ!!

閉園セレモニー、卒園式も終わり、子どもたちのいないガラとした幼稚園で、このごあいさつを書いております。今は、淋しさばかりが募っております。55年という長きにわたり、宝塚市立西山幼稚園を支えてくださり、地域のみなさまには感謝の言葉しかありません。ありがとうございます。

私にとっては、2年間という短い期間でしたが、地域の皆さまの優しさに、いつも励ましてもらっておりました。特に、コミュニティ西山運営委員会に出席させていただいた時や、小学校でのイベントなどに参加させていただいた時など、笑顔で挨拶してくださったり、話しかけてくださったり、幼稚園の様子を聞いてくださったりいつも気にかけてくださっていました。

子どもたちが、「ドリーム西山」と交流させていただいた時も子どもたちの歌をすごく褒めてくださいました。また、子どもたちの知ってほしいような曲を選んで、一緒に歌ってくださいました。

評議員の皆さまも、地域の方々でした。いつも前向きな意見で、私たち教職員の背中を押してくださいました。子どもたちの保育参観や生活発表会も、連絡を差しあげれば、必ずお返事をくださり、できるだけ見に来てくださいました。そしてまた、子どもたちを褒めてくださいました。

宝塚市立西山幼稚園として、最後の運動会になった今年度の運動会に、卒園児の皆さまや保護者の皆さま、そして地域の皆さまが、たくさん参加してくださったのも、たいへん嬉しくて、良い思い出として、心に残っています。園歌と一緒に歌い、アトム体操と玉入れをさせていただきました。

宝塚市立西山幼稚園は、歴史に幕を閉じさせていただきます。しかし、皆さまの心の中には、いつまでも残りますように。今までのご支援・ご協力ありがとうございました。



手がかかる子どもでも元気でいてくれるならいいと思った
もう戻ることはできないけれど
見えない距離をつなぐもの
人はこれを思い出と呼ぶらしい

阪急電車 車内刷りより

～ お知らせ ～

2024年の「遊歩野会」実施日 ランダム(random)にと

遊歩野会の実施日が昨年まで定例になっていたため、行きたい、見たいと思っていた所を諦めていました。が、今年は殻を破ってみることを試みます。テーマは「観花」いい時期に歩きます。実施日を今からスケジュール帳にご記入お願いします。広報紙による実施日確認も都度お願いします。！！

～ 第209回遊歩野会ウォーキング ～

須磨浦公園 (☆) 約5km

バラ

- 1) 日時 5月10日(金) 9:30集合
- 2) 集合場所 阪急西宮北口駅 時計台下
- 3) 行程 切符は 山陽電鉄 須磨浦公園
阪急西宮北口駅⇒新開地駅⇒山陽電鉄 須磨浦公園
駅～須磨浦公園観バラ～園内から梅尾山山頂～再び
園内に～山陽電鉄 須磨浦公園駅⇒阪急新開地駅⇒
阪急西宮北口駅
- 4) 梅尾山山頂へは希望者のみの山歩き。片道20分程。

～ 第211回遊歩野会ウォーキング ～

神戸 鳥原(カラスラ)ダム (☆) 約6km

紅葉

- 1) 日時 11月14日(木) 9:30集合
- 2) 集合場所 阪急西宮北口駅 時計台下
- 3) 行程 切符は ICカードで
阪急西宮北口駅⇒新開地⇒神戸高速線鶴越駅～鳥
原ダム～ダム貯水池周辺散策～鶴越駅⇒新開地駅
⇒阪急西宮北口駅
- 4) 静かなところですよ。のんびり歩きます。
- 5) 下見により行程変更あり。

～ 第210回遊歩野会ウォーキング ～

大阪公立大学附属植物園 (☆)

睡蓮・メタセコイア並木 (園内のみの距離)

- 1) 日時 10月16日(水) 9:30集合
- 2) 集合場所 阪急西宮北口駅 時計台下
- 3) 行程 切符は 大阪梅田駅まで
阪急西宮北口駅⇒大阪梅田駅⇒地下鉄淀橋駅⇒京阪
枚方市駅⇒私市駅～大阪公立大学植物園～私市駅⇒
枚方駅⇒淀屋橋⇒大阪梅田駅⇒阪急西宮北口駅
- 4) 普通の植物園と異なり、木々主体の植物園。
- 5) 13:30より大学の先生の楽しいガイド散策あり。
当日30名という枠あり(先着順)
- 6) 入園料350円



【編集後記】

緑色に見えるけどなぜ「青信号」なの？
1930年には「緑色信号」と呼ばれていたが、信号を設置した時、新聞報道で「青信号」と書き換えられて以後「青信号」と言われるようになったそうだ。実際の色は「青緑」である。日本では緑色のものを青と呼ぶ習慣が根強く、緑色でも「青菜」や、新鮮な野菜を「青々とした・・・」と言ったりしている。歴史的に見て日本語の「青」の範囲は広いのだ。そこで色の名前の語源を調べました。

日本で先人たちはいつから色の違いを区分し、それに純粋に抽象概念の色名を付けたのだろうか？もの本によると、古代社会では、白、黒、赤、青の4原色を純粋色彩語とし、その他の色は、植物(花、葉、茎、根、実)、鉱物(土、石、岩)、自然(海、空、水、雲、雨)等そのものの色を表現するために代用したりしていた。例えば桜色、緑色(ミドリとは新芽のこと)、紫色(むらさき草に由来)、空色、水色等々。4原色を今の色に当てはめるとすれば、

- ・白は、白っぽい領域全て(白みの青やうすい灰色、土色も含む)
- ・黒は、灰色、黒、濃い紫、濃紺までの黒ずんだ領域。
- ・赤は、赤、橙、黄までの領域。
- ・青は、紺、青、うすい紫、緑までの領域というわけで、緑色でも、青信号という呼称はそれほど違和感がなく定着している。

白、黒、赤、青の4原色の特徴の一つに、「い」を付けただけで形容詞的に使えること。すなわち、白い○、黒い○○、赤い○○、青い○○というだけで○○の色がわかるが、4原色以外は、もともと色名ではないので、金色の○○、空色の○○のように色という字をつけて表現しなければ形容詞的には使えない。

時を経て、仏教伝来で、黄や紫が重要な色なので区分するようになり、金、紺、丹も区分され、独自の色として認識されてきた。南蛮・西洋文化が入って来た時、翻訳に苦労しながらピンク色、オレンジ色など色名を増やしてきた。現在の色名の数は、JIS規格で工業製品に用いられるのは269色あり、日本の伝統色は「和色大辞典」には465色が掲載されている。歴史資料に
出典があるのは1,100余りにのぼる。 【k】

★持ち物:弁当、飲み物、雨具 ★ケガ等自己責任と。
★問い合わせ先 電話 林 71-8572

にしやま倶楽部のご案内

場所 宝会館1階

5月 にしやまサロン

気軽におしゃべりしに来て下さい。

日時 5月16日(木) 13:30~15:00
参加費 200円

6月 「レザークラフト講習会」

レザーでかわいいネックレスを作りませんか？

日時 6月20日(木) 13:30~15:00
参加費 1,400円(材料代込み)

7月 「まちの保健室」

子育てや妊娠中の不安を看護師さんに相談できます！

日時 7月18日(木) 13:30~15:00
参加費 200円

【申し込み先】…6月のみ申し込み制です。

6月13日(木)までに下記までお申し込みください。
大崎 TEL 74-3905 FAX 74-3906